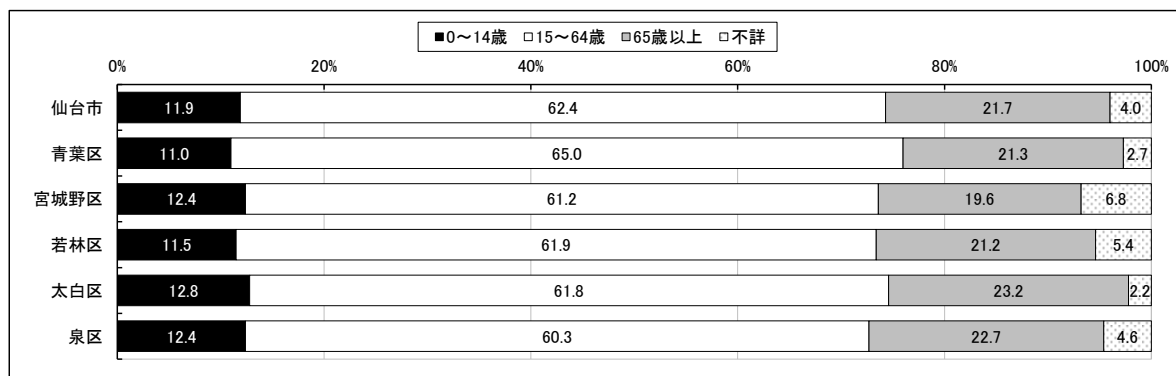


6-2. 各区の人口・世帯

各区において、年齢別の人口構成に大きな差は見られない

各区の人口を年齢の3区分別に見ると、高齢人口（65歳以上）の割合が最も高いのは太白区で23.2%、生産年齢人口（15～64歳）の割合が最も高いのは青葉区で65.0%、年少人口（0～14歳）の割合が最も高いのは太白区で12.8%となっている。特に、生産年齢人口の割合は、青葉区が他の区と比較して約3～5ポイント上回っている。なお、年齢別の人口構成では、各区に大きな差は見られない。

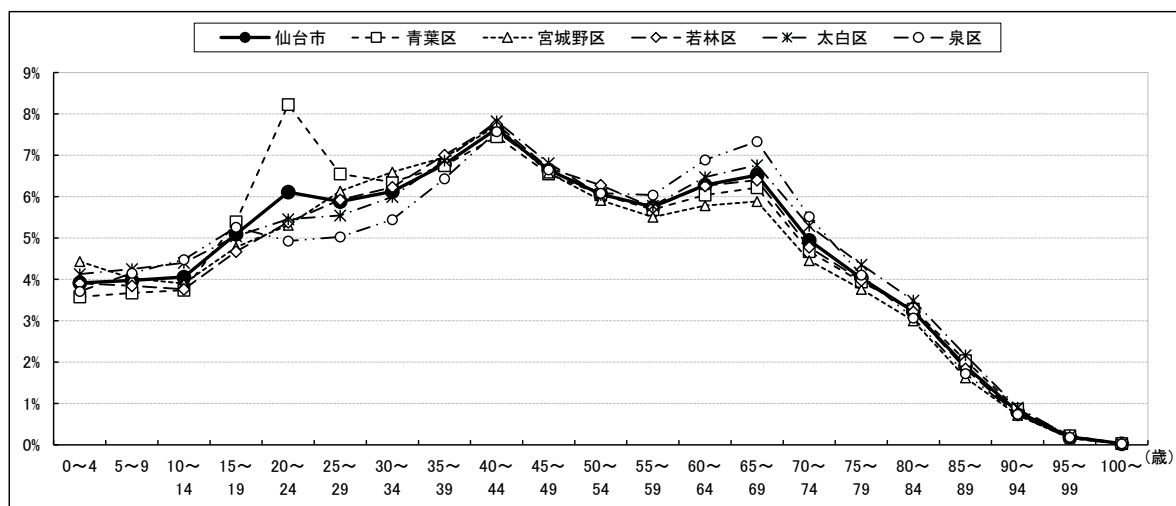
図6-2 各区の年齢別人口構成（3区分）



資料：平成27年国勢調査結果(総務省統計局)

5歳ごとの年齢別で見ると、20～24歳の割合では、青葉区が市平均より約2ポイント上回っているのに対し、他の4区は市平均より低くなっている。また、65～69歳以上の高齢者の割合では、太白区、泉区が市平均より高い傾向にある。

図6-3 各区の年齢別人口構成（5歳区分）

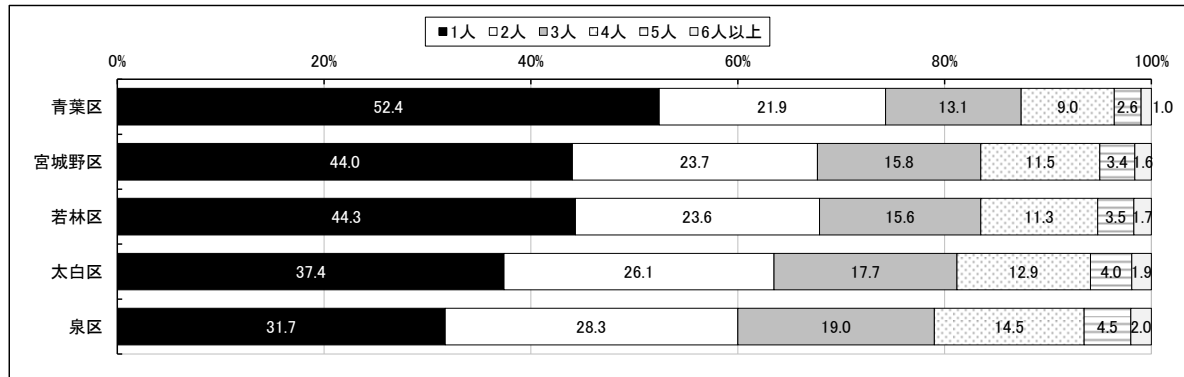


資料：平成27年国勢調査結果(総務省統計局)

※不詳を除く

世帯人員別の世帯数の割合を見ると、図 6-3 のとおり 20～24 歳の若い世代が多く集まる青葉区では、単身世帯の割合が他区に比べて高く、52.4%と半数以上が単身世帯となっている。一方、太白区、泉区では、2～5人世帯の世帯の割合が他区に比べて高い。

図 6-4 各区の世帯人員別世帯数の割合



資料：平成 27 年国勢調査結果(総務省統計局)

6-3. 住宅事情

6-3-1. 住宅総数・空き家数

空き家率が高い青葉区、低い泉区

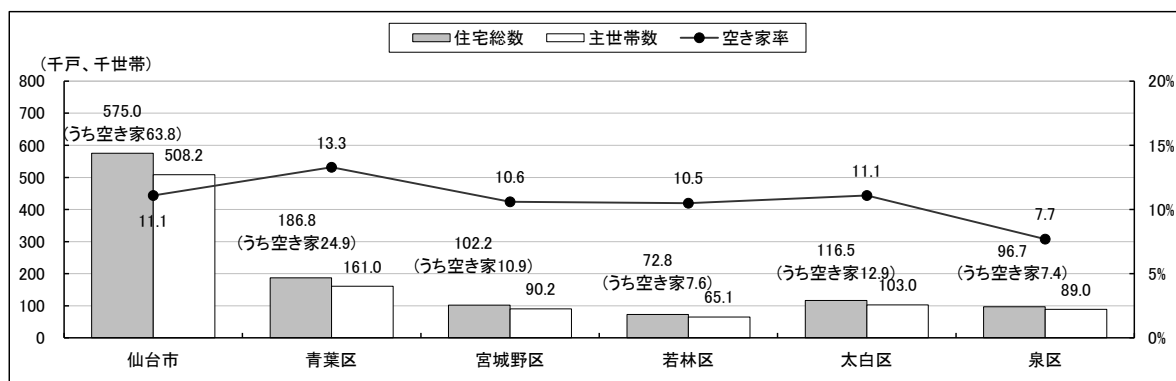
住宅ストックを見ると、住宅総数は青葉区が最も多く、次いで、太白区、宮城野区、泉区、若林区となっている。なお、住宅総数を平成25年と比較すると、青葉区以外の区で、増加している。

また、空き家率は青葉区が13.3%と最も高く、次いで太白区が11.1%、宮城野区が10.6%となっている。一方、泉区は、7.7%と低い。平成25年と比較すると、青葉区、宮城野区、泉区で上昇、若林区、太白区で減少している。

空き家数は、最も多く増加したのは青葉区で、減少したのは太白区のみだった。

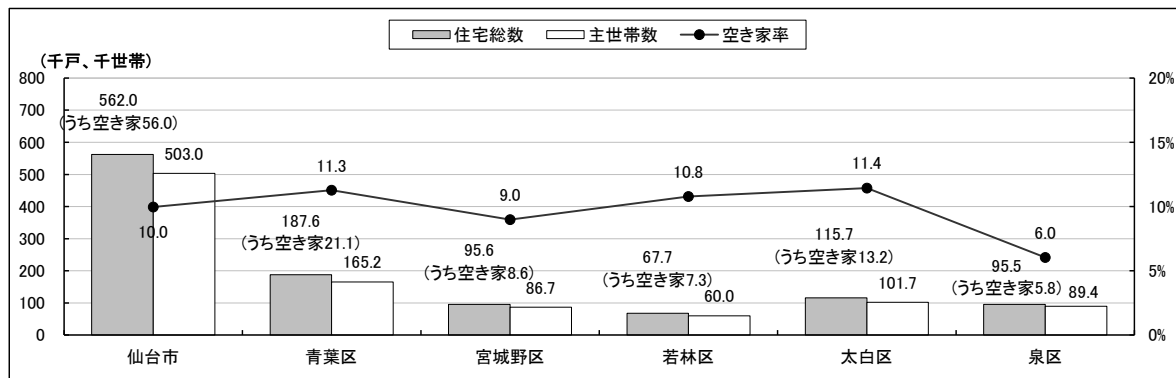
図6-5 各区の住宅ストック

(平成30年)



資料：平成30年住宅・土地統計調査結果(総務省統計局)

(平成25年)



資料：平成25年住宅・土地統計調査結果(総務省統計局)

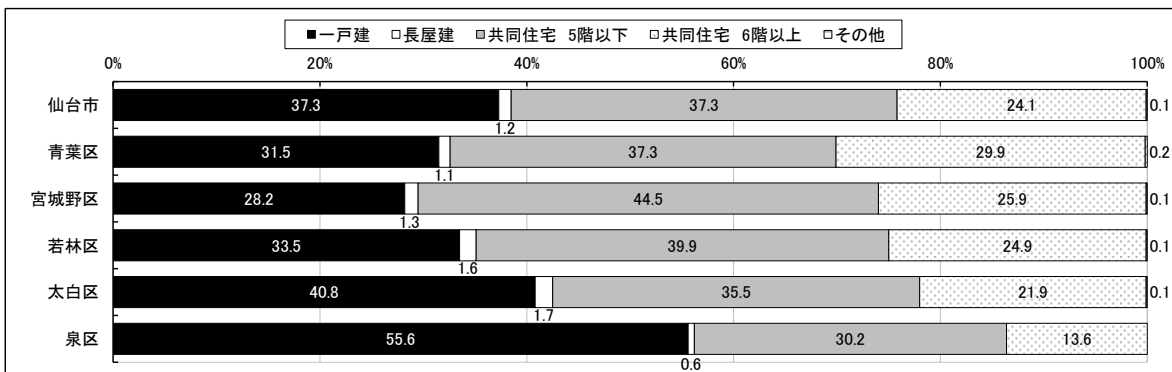
6-3-2. 建て方・構造別住宅数

共同住宅の割合の高い宮城野区、一戸建の割合の高い泉区

各区の建て方別住宅数を見ると、共同住宅の割合が市の平均より高いのは、宮城野区(70.4%)、青葉区(67.2%)、若林区(64.8%)となっており、特に宮城野区では、5階以下の共同住宅の割合が、他区に比べて高い。

一方、一戸建の割合が市の平均より高いのは、泉区、太白区であり、特に泉区は55.6%と他区に比べて高い。

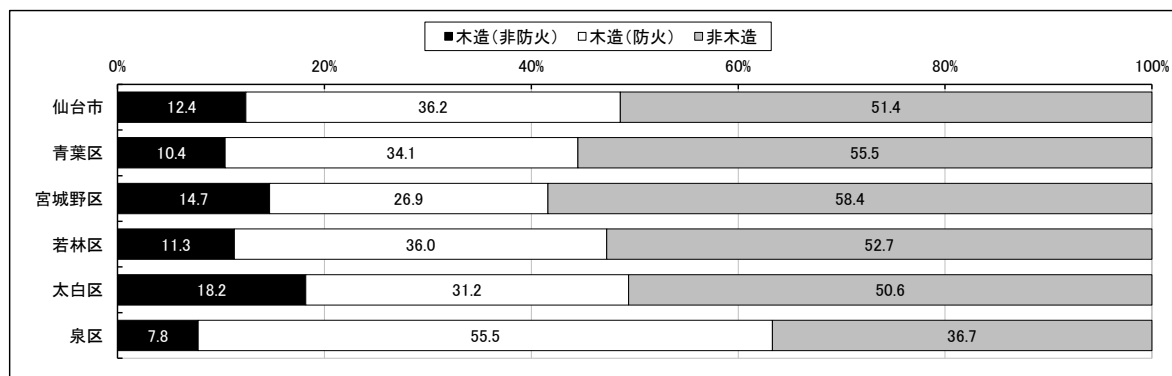
図6-6 各区の建て方別住宅数の割合



資料：平成30年住宅・土地統計調査結果(総務省統計局)

各区の構造別の住宅数を見ると、非木造の割合が最も高いのは、宮城野区で58.4%、次いで青葉区、若林区となっている。一方、木造(非防火・防火)の割合が高いのは、泉区で63.3%、次いで太白区となっている。

図6-7 各区の構造別住宅数の割合



資料：平成30年住宅・土地統計調査結果(総務省統計局)

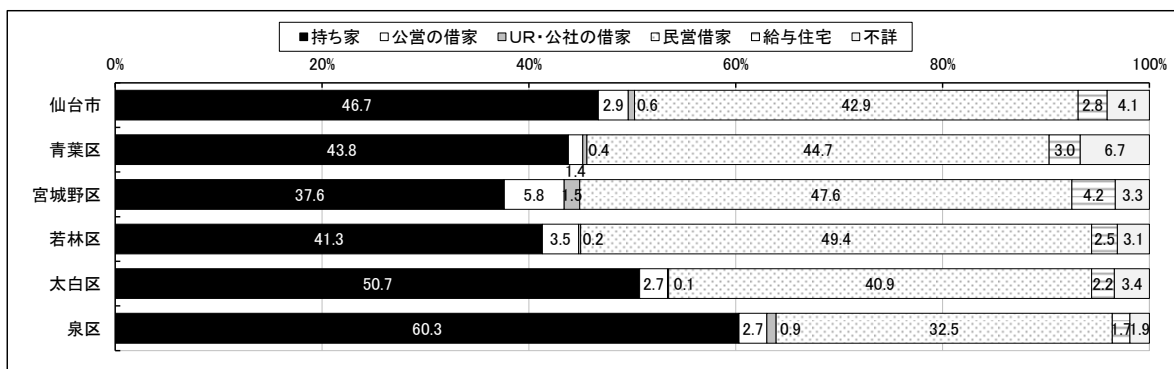
6-3-3. 住宅の所有の関係

借家の多い宮城野区、持ち家の多い泉区

各区の所有の関係別の世帯数を見ると、持ち家の割合は、泉区が最も多く、次いで太白区の順となっており、借家の割合は、宮城野区が最も多く、次いで若林区が多い。平成25年と比較すると、市全体では持ち家の割合は、0.8ポイント増加しており46.7%で、借家の割合は、2.6ポイント減少し、49.2%となっている。

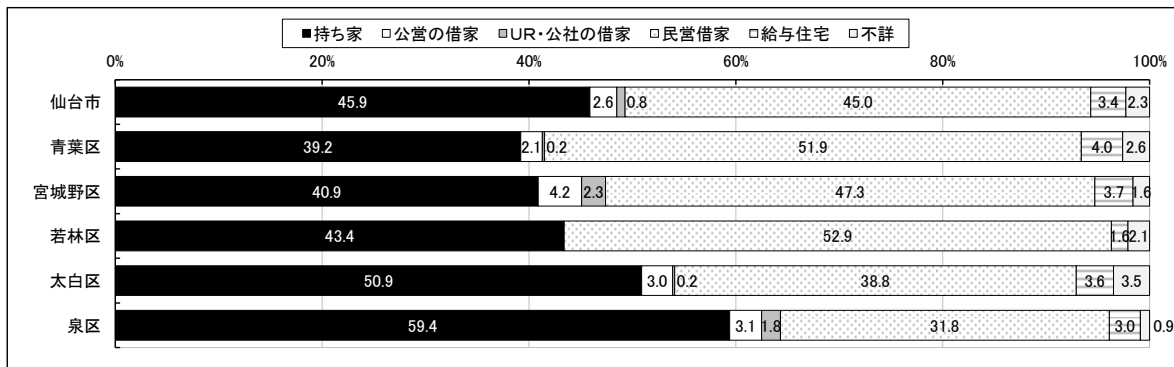
図6-8 各区の所有の関係別世帯数の割合

(平成30年)



資料：平成30年住宅・土地統計調査結果(総務省統計局)

(平成25年)



資料：平成25年住宅・土地統計調査結果(総務省統計局)

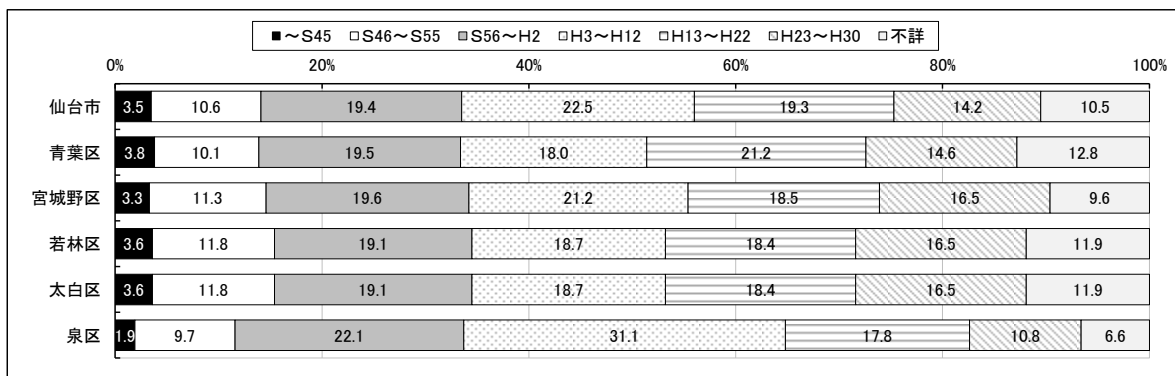
6-3-4. 住宅の建築時期

昭和56年以降の住宅が多い泉区、昭和55年以前の住宅が比較的多い太白区・宮城野区・若林区

各区の建築時期別住宅数の割合を見ると、昭和56年以降に建築された住宅の割合は、泉区が最も多く、80%を超えており、中でも平成3年～平成12年に建築された建物が31.1%と他区よりも高い。一方、若林区、太白区、宮城野区では昭和55年以前の住宅の割合が市平均より高く、約15%を占めている。

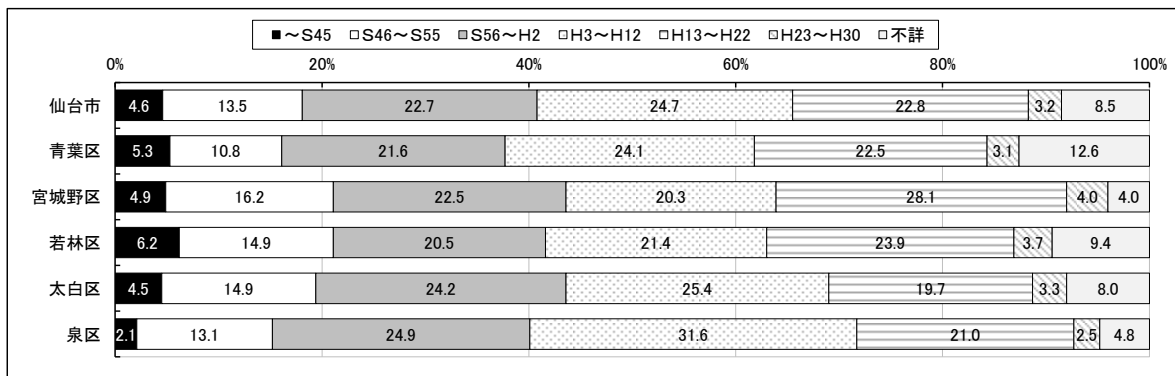
図6-9 各区の建築時期別住宅数の割合

(平成30年)



資料：平成30年住宅・土地統計調査結果(総務省統計局)

(平成25年)



資料：平成25年住宅・土地統計調査結果(総務省統計局)

6-3-5. 住宅規模

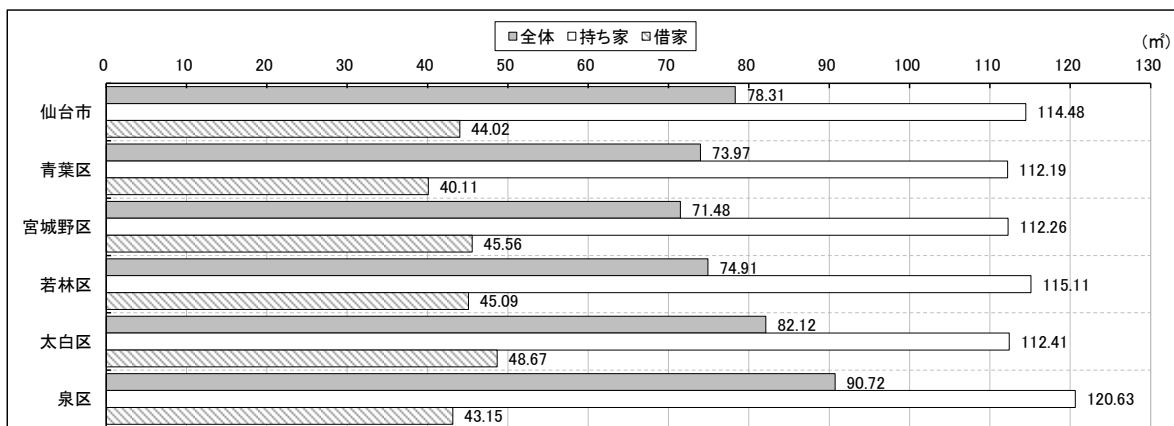
持ち家・借家ともに戸当たり面積が狭い青葉区

1住宅当たりの延べ床平均面積を見ると、持ち家で規模が最も大きいのは泉区の120.63㎡、最も小さいのは青葉区の112.19㎡で、その差は8.44㎡となっている。一方、借家で規模が最も大きいのは太白区の48.67㎡で、最も小さい青葉区の40.11㎡より8.56㎡広がっている。また、持ち家と借家の規模の格差については、どの区においても2.3～2.8倍の開きがある。

平成25年と比較すると、全市では、持ち家・借家とも延べ床面積に大きな変化はないが、泉区については、持ち家で4.50㎡、借家で2.08㎡減少している。青葉区、宮城野区、若林区では持ち家・借家ともに増加しているが、太白区では持ち家が3.05㎡減少しているが、借家では5.19㎡増加している。

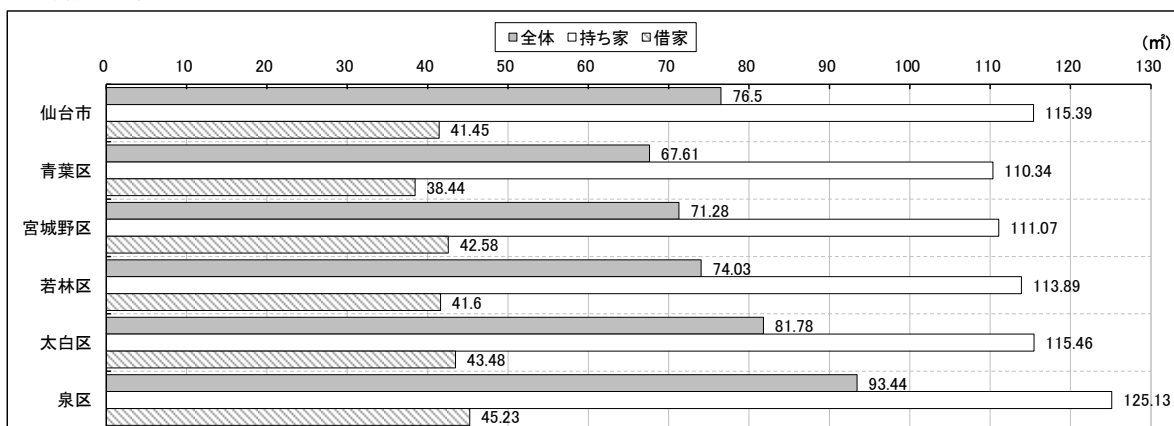
図6-10 各区の持ち家・借家別延べ床面積

(平成30年)



資料：平成30年住宅・土地統計調査結果(総務省統計局)

(平成25年)



資料：平成25年住宅・土地統計調査結果(総務省統計局)

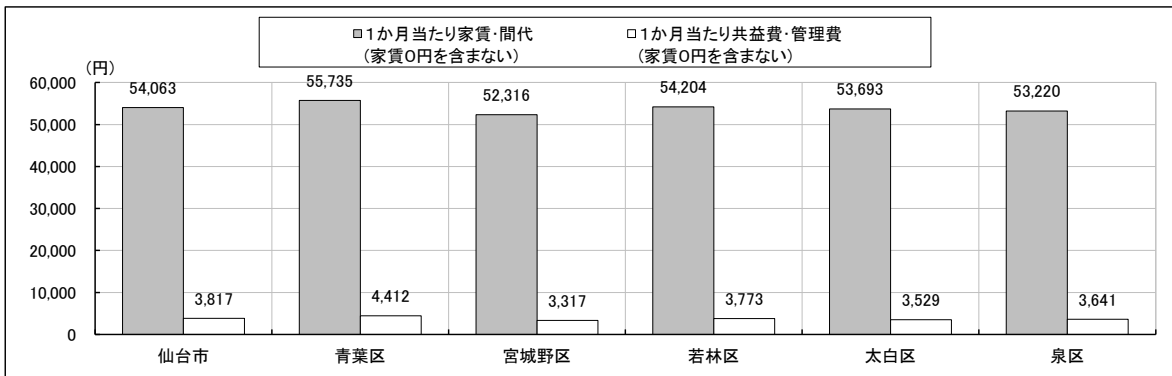
6-3-6. 借家家賃

家賃が高い青葉区、安い宮城野区

借家の1ヶ月当たりの家賃・間代(0円を含まない)を見ると、宮城野区の52,316円が最も安く、最も高い青葉区の55,735円より約3,000円安い。1ヶ月当たりの共益費・管理費(0円を含まない)を見ると、青葉区、次いで若林区が高い。

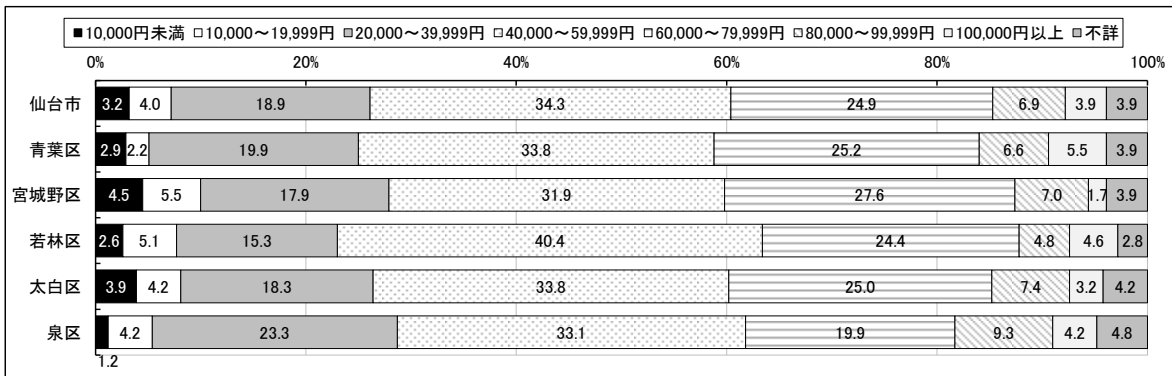
家賃帯別の借家数の割合では、各区とも4万~6万円未満の割合が最も高く、2万円未満の借家の割合は宮城野区が他区に比べて高い割合である。一方、泉区では8万円以上の借家の割合が他区に比べて高い。

図6-11 各区の借家の平均家賃



資料：平成30年住宅・土地統計調査結果(総務省統計局)

図6-12 各区の家賃帯別借家数の割合



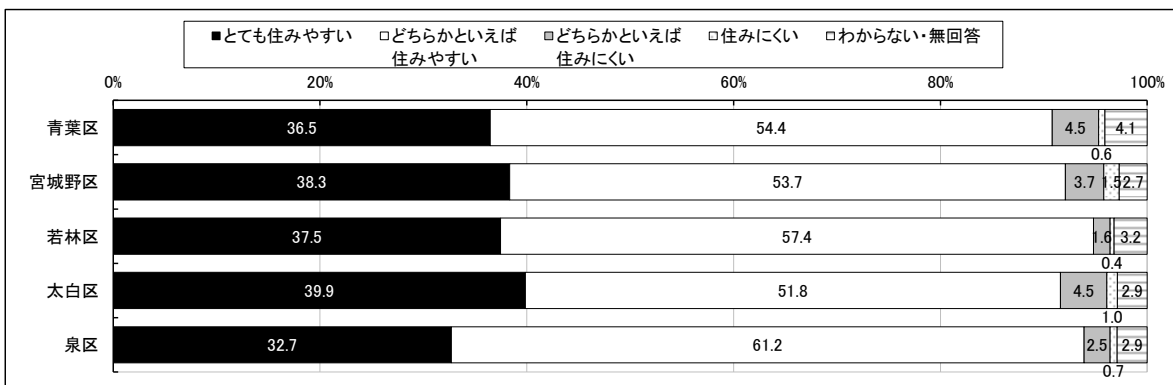
資料：平成30年住宅・土地統計調査結果(総務省統計局)

6-3-7. 住みやすさと居住意向

住みやすさへの評価が高い若林区

「とても住みやすい」又は「どちらかといえば住みやすい」と回答した人は合わせて、若林区で最も高く 94.9%、次いで泉区で 93.9%となっている。全体的に見ても、90%以上の高い評価を示している。「とても住みやすい」と回答した割合では、特に太白区が高い。

図6-13 各区の住みやすさの評価

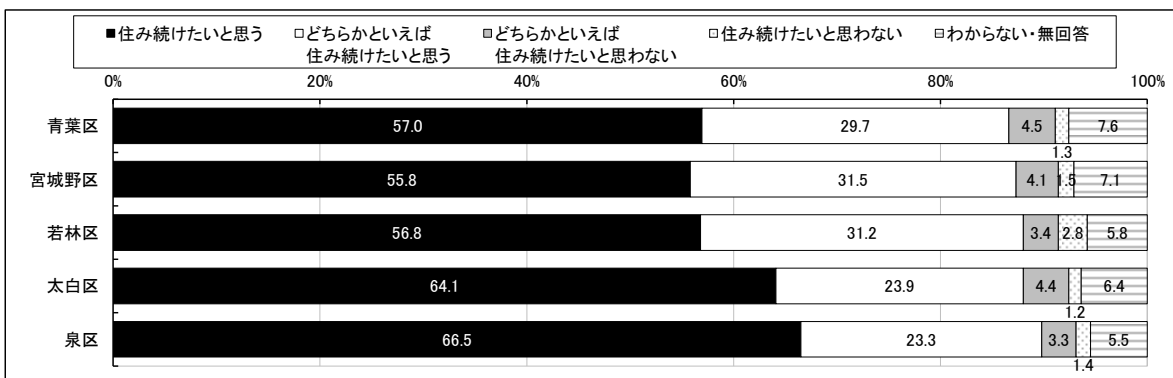


資料：令和元年度施策目標に関する市民意識調査結果

居住意向の高い太白区

居住意向に関して、「住み続けたいと思う」と回答している割合は泉区が最も高く、66.5%である。また、「どちらかというとも住み続けたいと思う」も含めた場合も、泉区が最も高く、89.8%となっている。

図6-14 各区の居住意向



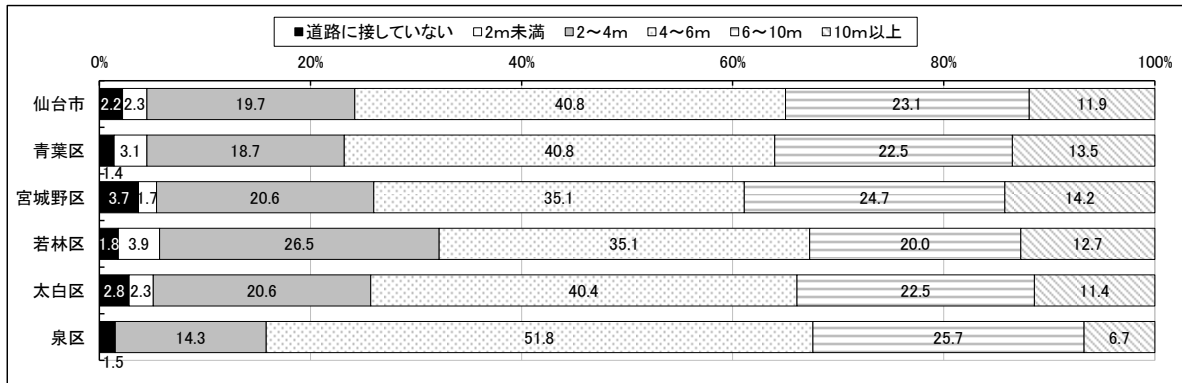
資料：令和元年度施策目標に関する市民意識調査結果

6-3-8. 道路幅員

幅員 4m未満の狭あい道路に接している住宅の割合が高い若林区

道路に接していない住宅の割合は、市全体では 2.2%となっており、宮城野区が 3.7%と最も高い。また、幅員 4m未満の狭あい道路に接している住宅の割合は、若林区が 30.4%と最も高く、次いで太白区となっている。

図 6-15 各区の接道道路の幅員別住宅数の割合



資料：平成 30 年住宅・土地統計調査結果(総務省統計局)

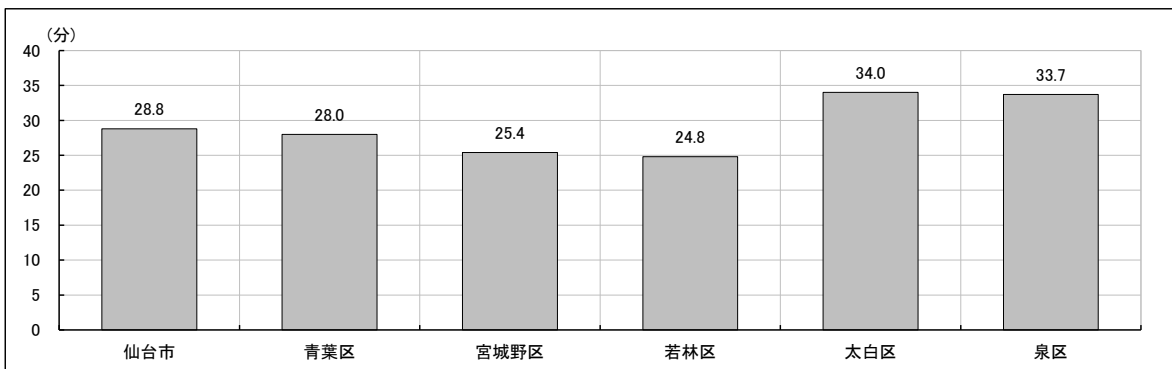
6-3-9. 通勤時間

通勤時間が短い若林区、長い太白区

各区の平均通勤時間を見ると、若林区が24.8分と最も短く、次いで宮城野区の25.4分となっている。最も長いのは太白区の34.0分で、次いで泉区の33.7分となっている。

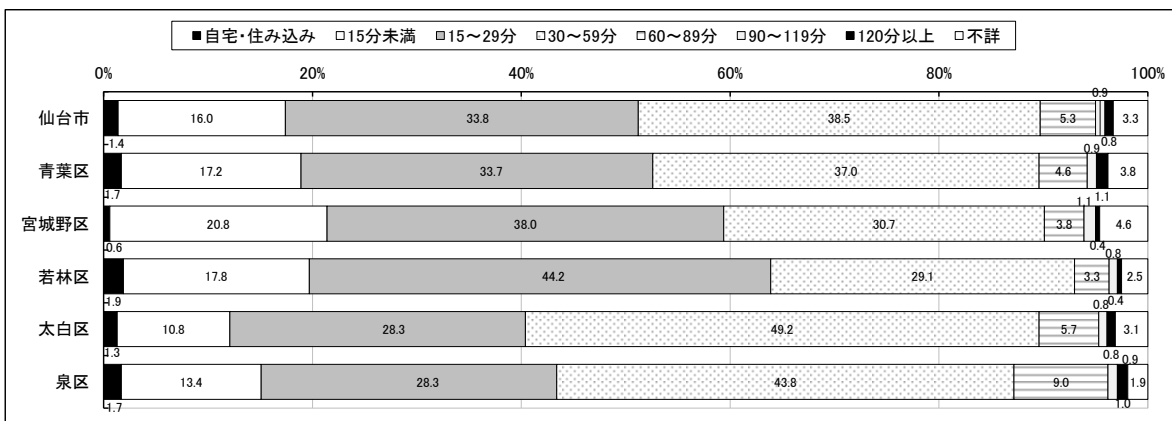
各区の通勤時間別世帯数（非通勤者を除く）の割合を見ると、通勤時間30分以内（自宅・住み込み含む）の世帯が若林区では63.9%を占めているのに対し、太白区では40.4%となっている。また、通勤時間60分以上の世帯では、泉区が10.9%と最も多く、次いで太白区が7.3%となっている。

図6-16 各区の平均通勤時間（中位数）



資料：平成30年住宅・土地統計調査結果(総務省統計局)

図6-17 各区の通勤時間別世帯数の割合



資料：平成30年住宅・土地統計調査結果(総務省統計局)